

【フランソワーズ・ウヴラル（Françoise Oeuvarard）講師の紹介】

講師のウヴラル氏は、フランスの教育社会学のリーダーの一人です。国民教育省教育統計局に長年勤務された経歴をお持ちで、2004年に省庁間共同事業でまとめられた不登校問題の研究でも広く知られています。

共著、分担執筆としては、

Marlaine Cacouault et Françoise Oeuvarard, *Sociologie de l'éducation*, 4e éd., Paris : Éd. la Découverte, 2009

Dominique Glasman et Françoise Oeuvarard, *La déscolarisation*, 2e éd., Paris: Éd. la Découverte, 2011

日本語では、「学区制に関する研究と論争」、園山大祐編著『学校選択のパラドクス』勁草書房、2012年所収があります。

研究会では、学校選択に関するパリ調査の概要をお話いただき、そのうえで、フランスの学区制の柔軟化政策の問題点について整理していただきました。さらに、移民の学校選択行動におけるエスニック・グループ間の差異について取り上げていただきました。